

# パブリックコメントを実施します。

## 皆さんのご意見をお寄せください。

市制50周年を記念して、本市において、利用可能なエネルギーの中で、最も期待される小水力発電の普及・啓発を図ることを目的として、市役所を供給先とする「家中川小水力市民発電所整備計画」(案)を作成しましたので、パブリックコメント制度に基づき公表し、市民の皆さんのご意見を募集します。

### ○案件名

家中川小水力市民発電所整備計画(案)

### ○目的

(1) 発電用としては国内屈指となる直径6m、幅2m、回転数毎分約6回転の木製下掛け水車(ドイツ製)を設置し、水のまち都留市の新たなシンボルとする。

(2) 発電能力は、最大で20KWで、市役所内の自家用電力として使用するほか夜間および休日には、売電して発電電力を有効に利用する。

(3) 年間の水量変化にも対応できるよう、PMG(永久磁石式発電機)と半導体電力変換装置を組み合わせた電子的水位変動方式や、ごみ対策として、小型で安価な除塵機を開発導入する。

(4) 谷村第一小学校にも隣接し、環境教育の教材として、また、市民に対する、クリーンエネルギー導入の普及・啓発用として活用する。

### ○設置場所

市役所庁舎前駐輪場

### ○設備

- ① 下掛け水車 1台
- ② 増速ギア装置 1台
- ③ 発電機と電力変換装置 1台
- (発電機 永久磁石同期発電機 定格 22KW、電圧190V 定格回転数 1200/min)
- ④ インバーターユニット
- ⑤ 遮断器類
- ⑥ バイパスゲート 1台
- ⑦ ゲート制御装置 一式
- ⑧ 直流電源 一式
- ⑨ 取引電力計 一式
- ⑩ 除塵機 一式

### ○意見の募集期間

10月1日(金)～29日(金)

### ○意見の提出方法

「家中川小水力市民発電所整備計画(案)に関する意見」と書き、次のいずれかの方法により政策形成課まで提出してください。

- ・ 直接提出
- ・ 郵便
- 〒40218501(住所不要)
- 都留市役所政策形成課行
- ・ ファクシミリ (45)5005
- ・ 電子メール
- seisaku@city.tsuru.yamanashi.jp

様式は自由ですが、氏名、住所、連絡先のご記入をお願いします。

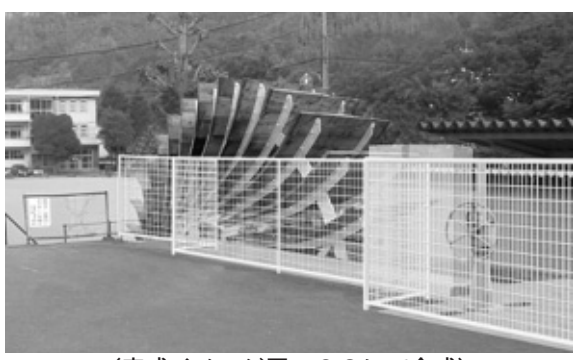
### ○公表の方法

この計画(案)の内容については、市のホームページでの公開、情報公開総合窓口(総務課)、政策形成課、各地域コミユニティセンターで縦覧できますのでご覧ください。

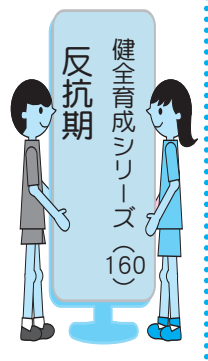
### ○提出期限

10月29日(金)消印有効

### 問合せ先 政策形成課



(完成イメージ図 CGにて合成)



子育てをしていく上で、自分の子どもがだんだん成長していくのを見るのは、親としても楽しみなものです。

ところが、順調に成長している我が子が、いつの間にか何事にも反発するようになってきます。だだをこねる子を見て親はうんざり顔になります。親としては、「手を洗いなさい」「早く寝なさい」と当たり前のことを言っていることが、子どもにとってはそうは思えないということなのです。

「自我」が生まれてくると「どうして」「なぜ」という気持ちが強くなってきます。子どもは自分で納得できないことに反発するのはふつうです。

「反抗期」は子どもの成長の中で、悪いことの代名詞のようにいわれています。これは、子どもの心の発達の大事な段階です。この「自我」が現れる時期は、何でも自分中心に動かないと気がすみません。自分の行動を親にとがめられると反発したり、怒ったりします。この反応は正常な心の発達から起こるものです。反発を見せた子のほうが時間が経つにつれ

子のほうが、時間が経つにつれうまくいかなくなることはありません。正常な心の反発を親や教師におさえられてしまっているのです。子どもは反発を繰り返すことで知恵を発達させます。「反抗期」は子どもの心の発達に欠かせないものです。

それでは、親として「反抗期」にある我が子をどう扱ったらいいでしょう。何よりも子どもにそういう時期があることを認めることです。そして、子どものすることに口を出さないことです。どうしても私たちが大人は、子どもの世界に入り込もうとしますが、子どもにとってはいいことではありません。親は子どもを見ていてあげることです。親の余裕が大切です。

しかし、ただほうっておけばいいということではありません。最近はこの傾向が強いのですが、そうすることで生活は乱れてしまいます。基本的な生活習慣はこの時期にしっかりと身につけさせたほうがいいと思います。

「反抗期」という子どもの正常な心の現れがない子が増えているともいわれます。「反抗期」という正常な心の発達がなっていない子が将来危険性が高いともいわれます。一方的におさえつけて正常な発達をゆがめてはだめです。おさえ過ぎず、過保護にしたりしないで、子どもの成長を見守

つていきましょう。